

駅通所ガイドへのヒアリング内容

日時：令和4年11月25日 金曜日 10時～

場所：エコミュージアムセンター 知新の駅

- 1：受付の際、あったらよいと思われる施設等は、ありますか？
 - ・平日一人勤務の場合、呼び鈴のようなものがあると良い。
 - ・転倒防止のための玄関に手すりや滑り止めの設置。・アンケート
 - ・Wi-Fi環境の設置。(資料4 P35に反映)
 - ・外国語パンフ ・来館者カウンターセンサー ・事務用パソコンの導入。
 - ・体温計測・消毒スプレーディスペンサー

- 2：現在の駅通所内での展示品や解説資料以外に、こんな資料があればいいと思うものは？
 - ・久蔵や旅人の当時の生活様式（道具や人形）を展示。
(資料6 P10, 12に反映)
 - ・資料を見てもわからないことが多いので、ストーリー性のある展示のみで十分である。[明治6年～30年頃までの、明治天皇・クラーク・赤毛ルーツ]
(資料6 P8～12に反映)
 - ・既存パネルが読みづらいので、展示パネルの工夫が必要。

- 3：史跡全体（主屋・園庭）として、あったらよいと思われる設備等は、ありますか。
 - (1) 母屋について
 - ・当時の様子（食事風景・使用していた什器・部屋の様子）を再現。
(資料6 P10, 12に反映)
 - ・全体的にもう少し明るい照明にしてはどうか。
 - ・スマホで概要ガイドがアナウンスされる設備や貸し出し機器の設置。
(資料4 P35に反映)
 - ・長持ちや流し台大型のものを撤去して展示スペースに活用してはどうか。
 - ・展示パネルの足が危ない。(資料6 P8～12に反映)
 - ・土間の活用をしてはどうか。
 - ・押入れの引き戸を見せたい。
(資料6 P9に反映。展示ケース高さは900mm程度を想定)

裏面へ



(2) 園庭周辺について

- ・樹木名（プレート）。・ベンチ（園庭）・屋外の説明版。
- ・トイレ便器（和式→洋式）・車いす（外・内）で回れる通路。

4：観覧者の方で、旧島松駅通所についてご意見を頂いたことはありますか。

- ・屋根の改修について・雨漏りについて
- ・建具の召し合わせについて指摘（行在所襖の召し合わせが逆ではないか。）

5：外国人はどのくらい来ますか？日本語がわからない場合の対応はどうしていますか？

- ・月に1回程度・1回あたり主に東南アジアから数名（5～7名）来館する。
- ・年間20名前後が来館する。
- ・ツアーガイドが同行・コロナの影響で、現在は少ない状況である。
- ・通訳同行が多いので、展示については問題がないが、外国語対応のパンフがあるとよい。（資料6 P8、11に反映）
- ・外国人自身がスマホの翻訳機能を利用している。

6：車いすで観覧に来られる方は、月に何名程度でしょうか？

- ・年間50名くらいの観覧者である。
- ・玄関前に来るが、中へは入ってこない。
- ・平均的には、月2～3回程度で1回あたり2～3名の観覧である。
- ・館内の見学は、一度もなく外観の見学がほとんどである。
- ・特に春（桜）・夏（新緑）・秋（紅葉）の季節に、ピークは介護車10台、車いすの方20～30名ほどが見学に来る
- ・近隣の高齢者施設が、ドライブコースに取り入れているが、館内や園庭は見学しない。車いすでの入館が、難しいことを認識しているようだ。
（資料6 P7に反映）

7：その他

- ・来館者10名につきガイド一人が適当ではないかと考えている。

以上